

Title	気賀健三名誉教授著作目録
Sub Title	A bibliography of the writings of Prof. Kenzo Kiga
Author	川野辺, 裕幸 飛島田, 里美 三宅, 保治 椿, 敬一郎
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1975
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.68, No.3 (1975. 3) ,p.294(176)- 302(184)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	気賀健三教授退任記念特集号
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19750301-0176

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

気賀健三名誉教授著作目録*

- 昭和5年
「カッセルの自由主義経済学(-)」 三田学会雑誌24巻11号 (11月)
- 昭和6年
「カッセルの価格論と自由競争論」 三田学会雑誌25巻4号 (4月)
「価値学説無用論と限界効用理論」 三田学会雑誌25巻9号 (9月)
- 昭和7年
〔書評〕 Irving Fisher; *The Theory of Interest* 三田学会雑誌26巻1号 (1月)
「経済学的原則の意義」 三田学会雑誌26巻4号 (4月)
「経済学の“社会的法的”基礎」 三田学会雑誌26巻9号 (9月)
「経済学の心理的個人主義的基礎——リーフマンの経済学方法論——」 三田学会雑誌26巻10号 (10月)
- 昭和8年
「価値と経済的ディメンジョン——ゴットルの価値論——」 三田学会雑誌27巻5号 (5月)
〔書評〕 ミーゼス, ビンシュピート編『価値論の諸問題』 三田学会雑誌27巻8号 (8月)
〔書評〕 ミーゼス, ビンシュピート編『価値論の諸問題』第二篇 三田学会雑誌27巻11号 (11月)
- 昭和9年
「客観的価値批判——特にオッペンハイマーの価値論」 三田学会雑誌28巻1号 (1月)
「我国の米穀問題」慶應義塾産業研究会編『世界経済戦と我国産業の動向——『産業研究』10周年特集——』 慶應義塾産業研究会 (2月)
「限界効用理論の擁護」 三田学会雑誌28巻7号 (7月)
〔書評〕 ハンス・ペーター著『現代経済理論』 三田学会雑誌28巻10号 (10月)
- 昭和10年
〔書評〕 ヘランダール著『経済政策と合理的基礎』 三田学会雑誌29巻1号 (1月)
〔書評〕 モルゲンシュテルン著『経済政策の限界』 三田学会雑誌29巻2号 (2月)
〔書評〕 ビグウ著 小島・高村訳『厚生経済学』第一分冊 三田学会雑誌29巻3号 (3月)
「経済政策学の可能性」 三田学会雑誌29巻4号 (4月)
〔書評〕 エリッヒ・ブライザー著『経済の形態と形成』 三田学会雑誌29巻5号 (5月)
〔書評〕 オッター・コンラッド著『経済学の死罪』 三田学会雑誌29巻6号 (6月)
〔書評〕 竹内運平著『北海道史要』 三田学会雑誌29巻9号 (9月)
〔書評〕 リューラー著『国民経済的利益、全体利益及び共同福祉』 三田学会雑誌29巻10号 (10月)
〔訳書〕 アービング・フィッシャー著『利子論』(気賀勘重氏と共訳) 岩波書店 (10月)
- 「経済政策の目的論的観察」 三田学会雑誌29巻12号 (12月)
- 昭和11年
〔書評〕 Carl Landauer 著 田中力訳『計画経済と流通経済』 三田学会雑誌30巻2号 (2月)
〔書評〕 Brutzkus; *Economic Planning in Soviet Russia* 三田学会雑誌30巻4号 (4月)

* 『』印は単行本を, 「」印は論文を示す。

気賀健三名誉教授著作目録

- 「価値論と計画経済」 三田学会雑誌30巻9号(9月)
 〔書評〕 Hans Meyer; *Der Erkenntniswert des funktionellen Preistheorien* 三田学会雑誌30巻10号(10月)
- 昭和12年
 「経済政策の目的」 三田学会雑誌31巻1号(1月)
 〔書評〕 Ratzlaff; *The Theories of Free Competition* 三田学会雑誌31巻3号(3月)
- 昭和15年
 「経済の政治化——全体主義経済政策の根本問題——」 三田学会雑誌34巻12号(12月)
- 昭和16年
 〔書評〕 「ワイベルト著『理想型と形式理論』——現代ドイツ方法論争の一節——」 三田学会雑誌35巻9号(7月)
 「経済政策の根本問題——政策論及び経済組織論——」 有斐閣(11月)
 「経済理論と統制経済」 三田学会雑誌35巻12号(12月)
- 昭和18年
 「統制経済における計画」 三田学会雑誌37巻5号(5月)
 「公定価格と統制的均衡」 三田学会雑誌37巻11号(11月)
- 昭和19年
 「統制経済における価格政策の課題」 三田学会雑誌38巻3, 4合併号(4月)
 「統制経済の秩序」 有斐閣(6月)
- 昭和20年
 〔訳書〕 ワーゲンフェール著『経済学体系論——方法史的考察——』 実業之日本社(5月)
- 昭和21年
 「利子動態論への回顧」 三田学会雑誌39巻1号(7月)
 「計画経済への道」 三田学会雑誌39巻3号(9月)
 「経済政策原理」(一)(二) 東京経済学研究所編『経済学講座』第1巻 東京経済学研究所出版部
- 昭和22年
 「現代社会主義思想論」 実業之日本社(2月)
 「社会の進化と倫理」 三田学会雑誌40巻4号(4月)
 「社会的自己主義」 三田学会雑誌40巻7, 8, 9合併号(9月)
 「経済政策原理」(三)(四) 東京経済学研究所編『経済学講座』第3巻 東京経済学研究所出版部(9月)
- 昭和23年
 「経済政策原理」(一)~(六) 通信教育教材(1月より昭和24年4月)
 「経済学原理」(一)~(六) 通信教育教材(5月より昭和24年5月)
 「経済組織と社会改革の倫理」 有斐閣(8月)
 「伊東岱吉君の批判に答える」 三田学会雑誌41巻8号(8月)
 「経済政策原理」(五)(完) 東京経済学研究所編『経済学講座』第7巻 東京経済学研究所出版部(10月)
 「価値判断の問題と再反省」 エコノミスト別冊『最近理論経済学の展望——創刊25周年記念特集——』 毎日新聞社(11月)
- 昭和25年
 「経済政策総論」(現代経済学全書18巻) 労働文化社(2月)

「三田学会雑誌」68巻3号(1975年3月)

- 『ソ連経済論』(一)(二)
 「日本の復興のために」
 『ソヴェート計画経済論』
 「“奴隷の所感”に対する“自由な所感”」
 昭和26年
 「唯物史観と自由」
 昭和27年
 「社会主義経済の理論とイデオロギー」
 昭和28年
 「価値判断に関するわが国の学説について」
 「スターリンの社会主義経済観」
 【書評】 伊部政一著『資本主義の将来』
 「経済政策の倫理的な性格」日本経済政策学会編『日本経済政策学会年報 経済政策一』
 「経済政策としての計画」(報告) 日本経済政策学会編『日本経済政策学会年報 経済政策一』
 『現代の社会思想』
 【訳書】 ピグウ著『厚生経済学』(永田清氏監修 千種義人氏、鈴木諒一氏、福岡正夫氏、大熊一郎氏と共訳)
 昭和29年
 『経済政策総論』
 「スターリン論文における経済法則論」
 昭和30年
 「民主社会主義の思想」
 「マルクスとスターリン」
 「平和的共存の説」
 「ソ連の農業問題」
 「正しい妥協のために」
 昭和31年
 『社会的進歩の原理——経済政策原理の社会哲学的研究——』
 「独占と競争」
 「集団指導と共産党の独裁」
 「共産党的精神の本質」
 「ソ連の民主主義の理論と実際」
 「わたくしの読書遍歴」
 【訳書】 J. ティンバーゲン著『経済政策の理論』第2版(加藤寛氏と共訳)
 「競争と計画」
 「社会政策の理念」
 「商品生産と価値法則」社会思想研究会編『経済学教科書の問題』(上)
 「社会主義社会の経済法則」社会思想研究会編『経済学教科書の問題」
- 通信教育教材(3月)
 経営評論5巻5号(5月)
 社会思想研究会出版部(9月)
 自由国民28号
 三田学会雑誌44巻5号(5月)
 理論経済学3巻1号(1月)
 三田学会雑誌46巻1号(1月)
 ソ連研究2巻1号(1月)
 ソ連研究2巻3号(3月)
 如水書房(4月)
 如水書房(4月)
 金星堂(9月)
 東洋経済新報社(11月)(改訂重版 昭和41年 記者代表)
 金星堂(1月)
 三田学会雑誌47巻1号(1月)
 社会思想研究7巻1号(1月)
 三田学会雑誌48巻4号(4月)
 社会思想研究7巻6号(6月)
 三田学会雑誌48巻9号(9月)
 社会思想研究7巻12号(12月)
 塙書房(1月)
 公正取引69号(3月)
 世界127号(7月)
 日本及日本人7巻7号(7月)
 日本及日本人7巻9号(9月)
 社会思想研究8巻9号(9月)
 叢松堂(10月)
 三田学会雑誌49巻11号(11月)
 社会思想研究8巻11号(11月)
 中央公論社
 中央公論社

気賀健三名誉教授著作目録

題』(下)

『経済政策論』(NHK教養大学)

宝文館(4月)

昭和32年

「社会党の経済五ヶ年計画——日本社会党批判——」

社会思想研究9巻2号(2月)

「ソ連農業の戦後の発展について」日本経済政策学会編『日本経済政策学会年報五 戦後各国の経済政策の検討』

勁草書房(3月)

「コーリン・クラークと“経済的進歩の諸条件”」

学燈54巻8号(8月)

「自由企画体制と独占論」高垣寅次郎編『アメリカ経済政策の研究——日本学術振興会学術部第87小委員会報告——』

有斐閣(10月)

「社会主義と生産手段の公有論」

三田学会雑誌50巻10, 11合併号(11月)

「社会主義の変質」

経済往来19巻10号(11月)

「計画経済のメカニズムとその能率」

ソ連問題1巻1号(12月)

昭和33年

「共産主義は変わらないか——動揺するソ連・東欧の経済体制——」

経済往来10巻2号(2月)

「経済理論と自由主義」

理論経済学8巻3・4合併号(3月)

「社会主義の将来——今日の問題——」

経済セミナー14号(3月)

〔書評〕ジェー・バーリナー著『ソ連における工場と経営者』

ソ連問題2巻1号(3月)

〔書評〕ストレーナー著『現代の資本主義』日本経済政策学会編

勁草書房(4月)

『日本経済政策学会年報六 経済政策の対象と方法』

「資本主義と社会主義」(一)~(六)

社会思想研究10巻4号~9号, 12号, 11巻1号(4月~9月, 12月, 昭和34年1月)

『経済政策原理』(上)(下)

慶應通信(5月)

「アメリカの大衆資本主義」

経営者12巻5号(5月)

〔書評〕M. チェレンチェフ著『農産物の価格構造に関する若干の問題』

ソ連問題2巻1号(6月)

「ソ連の計画経済における均衡」

三田学会雑誌51巻6号(6月)

「社会主義経済における利益と公益——営利生産と計画生産の矛盾——」篠原三代平編『中山伊知郎博士還暦記念論文集——経済の安定と進歩——』

東洋経済新報社(9月)

「戦後経済政策の概説——成長主義の性質——」山中篤太郎・長守善編『戦後日本経済政策の分析』

勁草書房(9月)

「M T Sの改組にともなう若干の問題」

ソ連問題2巻3号(10月)

「ソ連経済の合理的過程」

ソ連問題2巻4号(12月)

昭和34年

「ソビエト農業の苦悶——七ヶ年計画とコルホーズの将来——」

経済往来11巻3号(3月)

「共産国の印象記——自由化と官僚主義の矛盾——」

世界160号(4月)

「ソ連経済の成長と能率」

世界経済14巻4号(4月)

「自主調整論にたいする国民経済的評価」

公正取引105号(6月)

「共産圏(東欧)における経済体制の最近の傾向について」

ソ連問題3巻2号(7月)

「ソ・中の経済発展に対する異見——コルホーズと人民公社の距離——」

経済往来11巻10号(10月)

「三田学会雑誌」68巻3号(1975年3月)

- 「経済政策方法論 第一章 経済政策論の回顧」 慶應義塾大学経済学会編『日本における経済学の百年』(上) 慶應義塾大学経済学会
- 昭和35年
- 『ソビエト経済の研究』(慶應義塾経済学会経済学研究叢書) 日本評論新社(1月)
- 「共産主義移行論」 三田学会雑誌53巻2号(2月)
- 「福祉国家」 有沢広己, 東畑精一, 中山伊知郎編『経済主体性講座第5巻 政府』 中央公論社(6月)
- 「共産主義の建設におけるスターリンとフルシチョフ——貨幣商品関係と国家死滅論について——」 共産圏問題4巻2号(6月)
- 「現代の帝国主義をめぐって——中・ソのイデオロギー論争は、どこから出発したか——」 経済往来12巻10号(10月)
- 「中共とソ連の間の総合的要素と対抗的要素」 共産圏問題4巻3号(11月)
- 「中・ソの対立と日本」 論争2巻4号
- 昭和36年
- 「共産圏研究第三回国家会議を顧みて」(報告) 共産圏問題4巻4号(3月)
- 〔書評〕 クラウス・メーネルト著『ソビエト人』 共産圏問題4巻4号(3月)
- 「現代の日本経済における政府の役割」 日本経済政策学会編『日本経済政策学会年報九 現代日本経済における国家の役割』 勁草書房(3月)
- 「共産主義者の夢」 日本及日本人12巻2号(8月)
- 〔書評〕 ロバート・W・キャムベル著『ソ連の経済力, その組織, 成長及競争』 共産圏問題5巻4号(10月)
- 〔書評〕 アレック・ノープ著『共産主義の経済戦術, ソ連の成長と能力』 共産圏問題5巻4号(10月)
- 昭和37年
- 「平和共存と経済競争」 政治公論44号(1月)
- 「不振にあえぐソ連農業——現状・問題点・方向——」 世界週報43巻9号(2月27日)
- 〔訳書〕 リチャード・パイプス編『ロシア・インテリゲンチア』(和田敏雄氏と共訳) 時事通信社(3月)
- 「アメリカのソ連研究機関と研究者たち——海外経済レポート——」 世界経済評論6巻9号(9月)
- 「ソ連共産党の綱領の分析」 社会思想研究13巻11号(11月)
- 「コモコンと欧州経済共同体」 経済往来14巻12号(12月)
- 「機構いじりで改革はできるか——ソ連計画経済体制の矛盾——」 世界週報43巻50号(12月11日)
- 〔訳書〕 ジョン・スコット著『ルーブル外交の実体』(上)(下) 時事通信社(12月)
- 昭和38年
- 「共産圏の国際分業とコモコン」 三田学会雑誌56巻2号(2月)
- 〔訳書〕 ルイス・ケルソ, モーチマー・アドラー著『百万人の資本主義』 時事通信社(7月)
- 「ソ連の経済成長」 共産圏問題7巻7号(7月)
- 〔訳書〕 ゲルハルト・コラム, セオドア・ガイガー著『アメリカ国民の経済』(上)(下) 時事通信社(9月)

気賀健三名誉教授著作目録

昭和38年

- 「コメコンの経済的矛盾」 共産圏問題 8巻 2号 (2月)
 「共産主義の矛盾に悩む——壁にぶつかったソ連経済——」 世界週報45巻11号 (3月17日)
 〔訳書〕 ジョン・スコット著『中共の危機』(上)(下) 時事通信社 (4月)
 〔編著書〕 「ソ連計画経済の特質」『ソ連経済と流通・金融制度』 清明会 (5月)
 (清明会叢書12)
 「専制政治の悩み」 政治公論48号 (9月)
 〔編書〕 『ソ連の労働事情』 日本労働協会 (10月)
 「行き悩む社会主義経済——東欧視察の旅から帰って——」(一)~(三) 世界週報45巻45~47号 (11月10日, 17日, 24日)
 〔訳書〕 G・F・ハドソン編『中ソ論争』(上)(下) 時事通信社 (11月)

昭和40年

- 「ソ連新政権の方向」 共産圏問題 9巻 1号 (1月)
 「コメコンの動向」 共産圏の動き 5号 (1月)
 「ソ連の企業経営と利潤論——ソ連経済に関する特別セミナー報告——」 共産圏問題 9巻 3号 (3月)
 「フルシチョフの改良主義」 共産圏問題 8巻 8号 (8月)
 「経済政策論」(経済学全集六) (小松雅雄氏, 加藤寛氏と共著) 世界書院 (11月)
 「コスイギンの工業管理改革案——どれほど自由化するか——」 共産圏問題 9巻 12号 (12月)
 〔訳書〕 スタニスラウ・ヴェリッシュ著『ソ連圏の経済——計画経済の分析』(上)(下) 時事通信社 (12月)

昭和41年

- 「平和共存政策の真意」 共産圏問題10巻 1号 (1月)
 「マルクス主義のイデオロギーと共産主義の理想」 政策月報 123号 (4月)
 「ソ連の当面する課題」 国際問題75号 (6月)
 「戦後20年間のソ連が当面する問題」 海外事情14巻 8号 (8月)
 「民主社会主義の歴史と理論」 改革者79号, 80号 (10月, 11月)
 「ソ連の中央集権的計画経済と利潤率中心の企業経営の体制」 三田学会雑誌59巻11号 (11月)

昭和42年

- 『共産主義の経済』(上) 塙書房 (1月)
 「ソ連経済の自由化傾向」 共産圏の動き17号 (1月)
 「経済と道徳」(一)~(三) 道徳教育73~75号 (1~3月)
 「日本経済の近代化に期待するもの」 政治公論54号 (3月)
 〔訳書〕 A・ブロムク編『岐路に立つ共産圏諸国』(上)(下) 時事通信社 (4月)
 「日本の経済的発展と国際的責任」 日本及日本人1448号 (6月)
 「ソ連の経済改革とマル経の後退」 経済往来19巻 6号 (6月)
 「東欧をめぐる新しい社会主義の潮流——自由化に揺ぐ計画経済の体制——」 社会科学11号 (6月)
 「ソヴェト経済の50年の経過におけるマルクス経済思想の後退」 共産圏問題11巻 8号 (8月)
 〔書評〕 佐藤博著『ソビエト財政論』 共産圏問題11巻 9号 (9月)
 「価値判断の客観性と理論的判断の相対性——マルクス主義方法論の批判——」, 慶應義塾経済学会編『経済学方法論の諸問題』 東洋経済新報社 (9月)

(シンポジウム叢書)

- 「ソ連経済とマルクス経済学——マルクス資本論百年、ソビエト革命五十年に際して——」(講演) 近畿大学商経学叢33・34合併号(9月)
- 「経済自由化の実情はどうか——ソ連・東欧を旅して——」(一)(二) 世界週報48巻43, 44号(10月24日, 31日)
- 〔訳書〕 シドニー・クライン著『中ソ分裂の経済的背景』 時事通信社(11月)

昭和43年

- 「ソビエト経済の五十年とマルクス主義の経済学」 共産圏問題12巻1・2合併号(1月)
- 「ソ連・東欧経済改革のジレンマ」 自由10巻1号(1月)
- 「転換期に立つソ連の経済政策」(報告) 日本経済政策学会編『日本経済政策学会年報十五 転型期の経済政策』 勁草書房(3月)
- 「ソ連・東欧の自由化の現状と学者の意見」(講演) 欧ア協会シリーズ35号(3月)
- 「ソ連・東欧の経済自由化の将来」 共産圏の動き24号(3月)
- 「激動下の東欧を旅して」(上)(下) 世界週報49巻19, 20号(5月7日, 14日)
- 「私の日本経済論——高度成長の要因とその将来——」 慶應ビジネスフォーラム6号(6月)
- 「チェコの政変と東欧の将来」 経済往来20巻9号(6月)
- 〔書評〕 「ソ連・東欧の経済改革——安平哲二氏の新著を読んで——」 共産圏問題12巻7号(7月)
- 「東欧自由化の証言——計画経済は自由経済へ接近するか——」 日本及日本人1463号(7月)
- 「東欧諸国の経済と政治の動き」 共産圏の動き26号(8月)
- 「プラハの街角で見た“自由”」 文芸春秋46巻10号(10月)
- 「チェコスロバキア事件の教訓」 同盟123号(10月)
- 「チェコスロバキア問題の経済的背景」『それでもチェコは戦う——二千語宣言署名者は訴える——』(カレル・バルタ氏, 猪木正道氏, 西義之氏と共著) 番町書房(11月)
- 〔編著書〕 「二つの経済体制の統合論について」『日米経済の比較研究』(小原敬士氏との共編) 東洋経済新報社

昭和44年

- 『共産主義の経済』(下) 塙書房(3月)
- 〔訳書〕 クレメント・ザプロッキ編『中ソ対立とアメリカ』(上)(下) 時事通信社(4月)
- 〔書評〕 「二つの経済体制の比較——バーグソンの新著『ソビエト社会主義の計画と生産性』——」 共産圏問題13巻11号(11月)

昭和45年

- 「ソ連共産党とイデオロギーの役割」 共産圏問題14巻1号(1月)
- 「ソビエト共産党はいずこへ行く」 大陸問題216号(1月)
- 「ソ連の農業」 共産圏の動き34号(3月)
- 「大学生と大学院学生をめぐる改革の提案」 厚生補導47号(4月)
- 「当面の大学改革の問題」 大陸問題220号(5月)
- 「大学の問題の輪廓」 カレント199号(5月15日)
- 「ソ連の経済成長の鈍化」 社会思想研究22巻6号(6月)
- 〔書評〕 オタ・シク著, 林三郎訳『チェコ経済の真実』 世界経済評論14巻6号(6月)

気賀健三名誉教授著作目録

- 「六月二十三日以後の大学問題」
 「教科書検定制度と教育のあり方」
 「欧米の管理者教育の実態」
 「一九七〇年代の最初の年を終える日本経済」
- 昭和46年
- 「ヨーロッパの経営教育」
 「ポーランドの労働者暴動の波紋」
 「ソ連と中央にたいする日本の立場」
 〔編書〕『現代の世界——ソ連・東ヨーロッパ——』（尾土久男氏、加藤寛氏、中村銈司氏と共編）
 「円の切上げと日本経済の国際的位置」
 「米ソの経済競争」（国際問題ゼミナールテキスト）
 「二つの経済体制の収斂論について」
 「国土開発の点と線」
 「ソ連の経済改革の効果」
 「ソ連経済の管理体制と官僚主義」
 「オーストリア学派の経済学方法論」
 Convergence Theories and Ownership of Property
- 昭和47年
- 「新時代を迎える日米経済関係」
 「わたくしの趣味の遍歴」
 「円の切り上げと日本経済の生きる途」
 「ソ連の経済体制の変化の可能性」
 〔編著書〕「比較経済体制論の系譜」『比較経済体制論講義』
- 昭和48年
- 「ソ連の貿易政策」
 「日本経済の国際的課題」
 「日本経済とシベリア開発」
 「自由な言論への圧力排せ」
 「日本の民主主義の悪弊」
 「受益者負担の原則見直せ」
 「企業は私益追及に自信をもて」
 「日本の民主主義を傷つける三つの潮流」
 「国民に良質廉価の食生活を」
 「金氏事件 速断を避けよ」
 「奇妙な社・共の経済政策」
 「“公共の福祉” 増進を急げ」
 「自衛隊違憲判決の誤りをつく」
 「矛盾に満ちた連合政権構想」
 「成長・資源・福祉の相互依存」
 「なまぬるいインフレ対策」
- カレント 209号 (8月25日)
 改革者 127号 (10月)
 経営者24巻10号 (10月)
 カレント 221号 (12月25日)
- 慶應ビジネスフォーラム10号 (2月)
 大陸問題 230号 (3月)
 カレント 231号 (4月5日)
 ダイヤモンド社 (5月)
- カレント 238号 (6月15日)
 日本国際問題研究所 (7月)
 経済論壇 (7月)
 日本及日本人1499号 (7月)
 共産圏問題15巻8号 (8月)
 海外事情19巻10号 (10月)
 三田学会雑誌64巻11号 (11月)
 Keio Economic Studies, Vol. 8, No. 2
- 大陸問題24号 (1月)
 三色旗 286号 (1月)
 カレント 289号 (2月25日)
 共産圏問題16巻3号 (3月)
 青林書院新社 (10月)
- 共産圏問題17巻1号 (1月)
 カレント 296号 (1月25日)
 大陸問題 205号 (4月)
 サンケイ新聞 (7月3日)
 言論人 203号 (7月5日)
 サンケイ新聞 (7月18日)
 サンケイ新聞 (8月1日)
 カレント 516号 (8月15日)
 サンケイ新聞 (8月15日)
 サンケイ新聞 (8月29日)
 サンケイ新聞 (9月12日)
 サンケイ新聞 (10月1日)
 市民の声14号 (10月15日)
 サンケイ新聞 (10月29日)
 環境文化 8号 (10月)
 サンケイ新聞 (11月12日)

「急げ総需要の抑制を」	週刊にっぽん109号(12月7日)
「直視せよ 石油苦難の道」	サンケイ新聞(12月14日)
「民主主義と共産主義」	親和238号(11月)
「社会的責任と公共広告」	サンケイ新聞
昭和49年	
「スジの通らぬ取材拒否」	サンケイ新聞(1月12日)
「一九七四年を迎える日本経済」	カレント331号(1月15日)
「自由の伝統」	塾12巻2号(2月)
「インフレの抑制が第一」	論争(2月1日)
「インフレは経済的に抑制を」	サンケイ新聞(2月9日)
「わたしの自由主義」	三田評論735号(3月)
「見当ちがいのインフレ論議」	サンケイ新聞(3月1日)
「インフレ便乗の政治スト」	サンケイ新聞(3月16日)
「慎重を要す日中航空協定」	サンケイ新聞(3月30日)
「日台間の信頼回復を」	サンケイ新聞(4月26日)
「新しい政治の出発のために」	改革者169号(4月)
「労働のみが価値の根源か——マルクス経済学批判(上)——」	革新46号(5月)
「自由経済の崩壊恐れる」	サンケイ新聞(5月27日)
「歴史が証明する労働価値説の破綻——マルクス経済学批判(下)——」	革新47号(6月)
「イデオロギー過剰の社・共」	サンケイ新聞(6月21日)
「自由経済体制をおびやかすもの」	カレント347号(6月25日)
「オーストリア学派の方法論」 杉原四郎・菱山泉編『セミナー経済学教室(二) 経済学史』	日本評論社(6月)
「矛盾する公共料金抑制策」	サンケイ新聞(7月23日)
「自由経済をおびやかすもの」	自由民主221号(7月)
「共産党の政策を衝く」	経営者28巻8号(8月)
「日韓両国の不信取り除け」	サンケイ新聞(8月28日)
「人間性欠く“むつ”帰港拒否」	サンケイ新聞(9月23日)
「新聞の公正と暴力」	三田キャンパス(10月15日)
「“独禁法改正”急ぐな」	サンケイ新聞(10月16日)
「自由経済体制と独禁法」	カレント356号(10月25日)
「前途暗い日本の民主主義」	サンケイ新聞(11月4日)
「独断と幻想の共産主義理論」	革新
「暴力に抵抗する勇敢な言論を」	言論人

〔本目録は暫定的なもので、辞典の執筆をはじめ遺漏があることをおことわりしておく。〕

〔資料作成〕

川野辺裕幸 飛鳥田里美
三宅 保治 椿 敬一郎